



うきうき学級&わくわく学級の児童9名が学習の成果を発表 ～桐生市立小中学校特別支援学級学習発表会～



ステージの上で「勇気100%」を歌う
うきうき学級とわくわく学級の子どもたち



展示ホールに飾った
図工と書写の作品

15日(金)に桐生市市民文化会館の小ホールで開催された桐生市立小中学校特別支援学級学習発表会に、うきうき学級とわくわく学級の児童9名が参加してステージ発表をおこないました。演目は、合奏「茶色の小びん」、ダンス「風になりたい」、歌「勇気100%」で、どれも他校の児童との共演というスタイルで発表しました。校内での練習をがんばってきた子どもたちは、発表会前日に会場でリハーサルをおこない、自信をもって発表会に臨むことができました。発表後、楽屋から出てきた子どもたちの満足感いっぱいの笑顔が素晴らしかったです。また、この日は、地下の展示ホールに図工や書写の作品を飾り、展示発表もおこないました。

28日(木)には、「お別れ遠足」が予定されています。一年間、様々な活動をおこなってきた桐生市立各小学校の仲間たちと一緒に活動する最後の機会になります。桐生が岡公園での一日を楽しく充実したものになるようにしてほしいと思います。

大善寺の『豆まき』に1年生20名が参加



大善寺の特設舞台から豆をまく1年生

3日(日)に毎年恒例の大善寺の「豆まき」がおこなわれ、1年生20名が参加しました。今回は日曜日の開催だったため、保護者に引率をしていただく中での対応になりました。当日は、舞台の上から豆をまいたり、まかれた豆を舞台の下で取ったりして、節分の行事を楽しみました。

子どもたちが地域の行事やイベントに参加することは、地域の中で生活する意識をもつこと、地域の人たちに見守られていること、地域の特性や伝統行事に触れる機会になることなど、大切な要素を含んでいます。これからも、たくさんの子どもたちが地域の様々な行事に参加してくれることを期待します。